

保健衛生課

平成21年10月の統合により、衛生課2係（食品衛生係、生活衛生係）に加え健康対策課感染症係が新たに編成され3係体制となり、名称も“保健衛生課”に変更された。

保健衛生課は、公衆衛生の向上のため、食品衛生業務、獣疫業務、環境衛生関係営業業務、水道業務、結核・感染症予防業務を行っている。

<食品衛生係>

食品衛生法、福岡県食品衛生法施行条例、福岡県食品取扱条例及び福岡県ふぐ取扱条例に基づき、飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止し、食品の安全性の確保を図るために、次の事業を行っている。

また、平成21年10月から当所に食品衛生広域専門監視班が設置され、南筑後保健福祉環境事務所と北筑後保健福祉環境事務所管内にある特定業種及び流通拠点等（別表）の監視指導等を行っている。

1 営業許可

食品衛生法に基づく34業種及び福岡県食品取扱条例に基づく5業種の許可を要する39業種について、申請前の事前指導と申請後の現地調査を実施し、施設基準に適合した施設には許可を与えている。

2 監視指導

年間監視指導計画に基づき、食品営業関係施設や学校、病院等の集団給食施設の監視、指導及び食品等の収去検査を行っている。

3 自主管理体制の強化と衛生教育

営業者に対し、施設及び食品の取扱い等に関する衛生的な管理運営体制の構築と食品衛生知識の普及を図るために食品衛生協会の協力のもと食中毒予防講習会（6回）や食品衛生責任者養成講習会（2回）を開催し、営業者の自主衛生管理体制の整備・強化に努めている。

また、食品営業及び集団給食施設関係者並びに食生活改善推進会等の一般消費者を対象に衛生講習会を実施している。

（1）食品衛生監視員活動状況

		平成23年度		平成24年度	
監視員数		一般食品監視員4名	広域専門監視班3班6名	一般食品監視員4名	広域専門監視班3班6名
監視対象施設		9,981	1,035	9,938	1,060
監視実施延件数		4,593	2,075	4,176	1,914
平均監視数(件/人(班)・月)		95.7	57.6	87.0	53.2
処分件数	営業停止	1		2	
	告発	0		0	
	物品廃棄	0		0	
	論説その他(始末書)	0		0	

(2) 営業施設数

ア 食品衛生法に基づくもの

(平成25年3月31日現在)

業 種	柳川市	八女市	筑後市	大川市	みやま市	大木町	広川町	特殊*	合計	
飲食店	一 般	181	224	115	87	72	16	50	0	745
	仕出・弁当	58	103	24	26	36	8	19	0	274
	旅 館	14	27	10	2	6	0	1	0	60
	そ の 他	322	371	229	230	116	55	59	133	1515
菓子製造業	75	185	59	26	57	19	32	19	472	
乳 処 理 業	1	1	1	0	0	0	0	0	3	
乳製品製造業	1	1	1	0	0	0	0	0	3	
集 乳 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
魚介類販売業	101	68	49	47	41	15	15	10	346	
魚介類競り売り業	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
魚肉練り製品製造業	3	4	2	2	3	0	1	1	16	
食品の冷凍冷蔵業	15	7	3	0	8	0	2	0	35	
缶詰びん詰食品製造業	3	35	4	0	7	0	1	0	50	
喫 茶 店	90	98	103	60	34	15	36	16	452	
あん類製造業	3	1	0	0	2	0	0	0	6	
アイスクリーム類製造業	1	4	1	2	0	0	0	1	9	
乳 類 販 売 業	136	132	102	88	70	30	41	1	600	
食 肉 処 理 業	2	6	1	0	2	0	2	0	13	
食 肉 販 売 業	89	98	65	51	43	16	20	1	383	
食肉製品製造業	0	1	0	0	0	0	1	0	2	
食用油脂製造業	2	0	0	0	1	0	0	0	3	
マーガリン製造業	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
みそ製造業	7	11	6	3	4	2	0	0	33	
醤油製造業	5	2	4	3	1	0	1	0	16	
ソース類製造業	0	0	1	1	3	0	1	0	6	
酒 類 製 造 業	1	7	1	2	5	0	0	0	16	
豆腐製造業	2	13	3	3	5	0	2	0	28	
納豆製造業	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
めん類製造業	2	3	3	1	0	1	3	0	13	
そうざい製造業	41	103	27	7	44	10	11	0	243	
添加物製造業	4	0	1	1	0	0	0	0	6	
清涼飲料水製造業	0	10	6	0	3	0	0	0	19	
氷 雪 製 造 業	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
氷 雪 販 売 業	2	1	1	1	2	0	0	0	7	
計	1,164	1,518	822	643	566	187	298	182	5,380	

*特殊形態営業:移動営業、仮設営業(営業区域:福岡市、北九州市、大牟田市、久留米市を除く県内全域)

イ 福岡県食品取扱条例に基づくもの

(平成25年3月31日現在)

業 種	柳川市	八女市	筑後市	大川市	みやま市	大木町	広川町	特殊*	合 計
ところてん製造業	0	3	0	0	1	0	0	0	4
おきょうと製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食品販売業	179	208	97	96	100	27	37	24	768
魚介類行商	0	0	0	0	0	0	0	16	16
計	179	211	97	96	101	27	37	40	788

※特殊形態営業:食品販売(移動)、魚介類行商(営業区域:福岡市、北九州市、大牟田市、久留米市を除く県内全域)

(3) 食品衛生広域専門監視班監視対象施設数

(平成25年3月31日現在)

業 種 ・ 種 類		北筑後管内	南筑後管内	合 計
特 定 業 種	乳 処 理 業	1	3	4
	特 別 牛 乳 搾 取 処 理 業	0	0	0
	乳 製 品 製 造 業	5	3	8
	魚 肉 練 り 製 品 製 造 業	7	15	22
	缶 詰 ・ 瓶 詰 食 品 製 造 業	6	49	55
	あ ん 類 製 造 業	1	6	7
	アイスクリーム類製造業	9	8	17
	食 肉 製 品 製 造 業	6	2	8
	乳 酸 飲 料 製 造 業	2	0	2
	食 用 油 脂 製 造 業	5	3	8
	マーガリン又はショートニング製造業	0	1	1
	添 加 物 製 造 業	2	6	8
	食 品 の 放 射 線 照 射 業	0	0	0
	清 涼 飲 料 水 製 造 業	17	19	36
	飲食店営業(大量調理施設)	6	11	17
	菓子(パンを含む)製造業(卸)	25	38	63
	食 品 の 冷 凍 又 は 冷 蔵 業	19	35	54
	食 肉 処 理 業	17	13	30
	み そ 製 造 業	21	34	55
	醬 油 製 造 業	15	16	31
	ソ ー ス 類 製 造 業	2	6	8
	酒 類 製 造 業	13	16	29
	豆 腐 製 造 業	24	28	52
	納 豆 製 造 業	3	2	5
	め ん 類 製 造 業	25	13	38
	そ う ざ い 製 造 業	7	46	53
	氷 雪 製 造 業	1	2	3
流 通 拠 点 ・ 特 定 業 種	水産物市場(魚介類せり売り業)	1	1	2
	集 積 セ ン タ ー	2	3	5
	青果市場(総合市場含む)	5	6	11
	大 規 模 小 売 店 舗	7	12	19
	食 品 製 造 業	169	240	409
	添加物の製造業(法定による規格がないもの)	0	0	0
合 計		423	637	1,060

(4) 食品等収去検査

ア 細菌検査

(平成25年3月31日現在)

区分 項目	一般食品監視員			食品衛生広域専門監視班		
	検査 項目数	不適項目数		検査 項目数	不適項目数	
		法※1	県※2		法※1	県※2
一般細菌	186	0	17	333	0	3
大腸菌群	123	0	9	271	3	3
腸炎ビブリオ	51	0	0	37	0	0
ブドウ球菌	134	0	0	207	0	0
サルモネラ	26	0	0	15	0	0
その他	36	0	0	83	0	0
合計	556	0	26	946	3	6

イ 化学検査

区分 項目	一般食品監視員			食品衛生広域専門監視班		
	検査 項目数	不適項目数		検査 項目数	不適項目数	
		法※1	県※2		法※1	県※2
発色剤	3	0	0	12	0	0
保存料	144	0	0	1256	0	0
着色料	168	0	0	1200	0	0
殺菌料	0	0	0	18	0	0
甘味料	18	0	0	170	0	0
残留農薬※3	0	0	0	36	1	0
その他	20	1	0	125	0	0
合計	353	1	0	2,817	1	0

※1 法:食品衛生法規格基準

※2 県:福岡県食品衛生成分規格指導基準

※3 農薬200項目を検査

(5) 衛生教育実施状況

実施対象	平成23年度	平成24年度
食品営業者	1,456人(11回)	1,471人(15回)
集団給食施設従事者	329人(6回)	397人(9回)
一般消費者	330人(9回)	671人(9回)
計	2,115人(26回)	2,539人(33回)

<生活衛生係>

1 獣疫業務

「狂犬病予防法」に基づく狂犬病予防集団注射の実施や野犬の捕獲等を行うほかに「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、動物取扱業の監視指導や飼えなくなった犬ねこの引取り及び負傷動物の収容業務を行っている。

また福岡県動物愛護推進協議会南筑後支部を発足し、犬ねこの適正な飼い方や動物愛護に関する啓発指導等の動物愛護事業の充実を図っている。その事業の一環として、犬の飼い主を対象にした犬のしつけ方教室、小学生を対象にした動物愛護教室を開催し広く啓発活動を行っている。

(1) 畜犬登録及び狂犬病予防注射関係

(平成25年3月31日現在)

市 町	年度	登録頭数	狂犬病予防注射			
			集 団	個 人	保健所	済票交付
柳 川 市	23	4,207	1,212	836	2	2,049
	24	4,236	1,181	803	0	1,984
八 女 市	23	3,717	2,165	543	5	2,711
	24	3,795	2,123	623	1	2,747
筑 後 市	23	2,224	1,034	398	1	1,433
	24	2,221	998	386	0	1,384
大 川 市	23	1,727	557	225	0	782
	24	1,724	502	240	0	742
みやま市	23	2,628	1,238	185	2	1,424
	24	2,615	1,162	214	0	1,376
大 木 町	23	765	367	140	0	507
	24	743	341	131	0	472
広 川 町	23	1,139	702	175	0	877
	24	1,146	707	166	0	873

(2) 平成24年度苦情内容

(平成25年3月31日現在)

項目	捕獲 件数	行方 不明	迷い 込み	負傷 動物	放し 飼い	咬 傷	農作 物被 害	家畜 被害	悪臭 鳴声	その 他	合計
件数	109	298	27	106	24	3	4	1	11	17	600

(3) 狂犬病予防及び動物愛護管理業務

(平成25年3月31日現在)

年度	捕獲犬	返還犬	引取犬	引取猫	犬による 事故(咬傷)
23	210	46	134	212	5
24	196	62	87	114	5

(4) 動物愛護教室実施状況

年 月 日	市 町 名	実 施 校	対 象 学 年
平成24年 9月11日	筑 後 市	松原小学校	小学校1年生
平成24年 9月20日	八 女 市	福島小学校	小学校1年生
平成24年10月16日	みやま市	上庄小学校	小学校1年生
平成24年10月23日	筑 後 市	西牟田小学校	小学校1年生
平成24年10月30日	筑 後 市	筑後北小学校	小学校1年生
平成24年11月 6日	大 川 市	三又小学校	小学校1年生
平成24年11月13日	みやま市	開小学校	小学校1年生
平成24年11月20日	八 女 市	立花小学校	小学校2年生
平成24年11月29日	八 女 市	長峰小学校	小学校1年生

(5) 動物取扱業登録数

(平成25年3月31日現在)

	販 売	保 管	訓 練	展 示	施設実数
柳 川 市	14	10	1	0	21
八 女 市	31	8	0	0	36
筑 後 市	13	4	0	0	16
大 川 市	9	2	0	0	11
みやま市	12	4	1	0	16
大 木 町	4	0	0	0	4
広 川 町	8	2	1	1	10
合 計	91	30	3	1	114

2 環境衛生関係業務（水道）

水道法に基づく届出の受理及び監視・指導や飲用井戸の衛生確保に関する指導啓発を行っている。

なお、市域の専用水道、簡易専用水道、飲用井戸は、平成25年4月1日から各市に権限委譲します。

（平成25年3月31日現在）

	専用水道	簡易専用水道
柳川市	0	43
八女市	5	22
筑後市	0	29
大川市	0	49
みやま市	1	22
大木町	0	8
広川町	2	5
合計	8	178

3 環境衛生関係業務(営業等)

旅館・公衆浴場・理容所・美容所・クリーニング業等の営業に係る施設、火葬場、特定建築物、ビル管理登録及び遊泳用プールの許可及び届出の受理並びに監視指導業務を行っている。

環境衛生関係施設数

（平成25年3月31日現在）

		柳川市	八女市	筑後市	大川市	みやま市	大木町	広川町	合計
興行場		0	0	1	0	0	0	0	1
旅館	旅館	13	16	8	3	7	0	0	47
	ホテル	5	6	3	1	0	0	0	15
	簡易宿所	0	18	0	1	1	0	1	21
公衆浴場	普通浴場	1	0	0	0	0	0	0	1
	その他の浴場	6	19	6	5	5	2	2	45
理容所		82	101	47	50	36	14	14	344
美容所		134	149	94	75	74	22	31	579
クリーニング所（洗濯）		11	12	9	2	11	2	4	51
クリーニング所（取次）		72	138	73	52	49	7	33	424
火葬場		0	5	0	1	2	1	0	9
特定建築物		8	11	8	6	7	3	0	43
ビル管理登録業		2	2	3	5	2	0	0	14
遊泳用プール		3	4	3	2	2	1	0	15
死亡獣畜取扱場		0	1	0	0	0	0	0	1
化製場		0	1	0	0	0	0	0	1

<感染症係>

1 結核対策

結核は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の中で2類感染症に位置付けられ、健康診断、就業制限、応急入院勧告等が条文で定められている。

管内における状況は、新登録患者数（罹患率：10万対）、平成23年54名（18.0）、平成24年47名（15.8）である。新登録患者に対する65歳以上の患者の占める割合は74.5%と非常に高い。そのため高齢者に対し結核の早期発見のための啓発活動等は重要な課題である。また、発見時すでに人に感染をさせる可能性が高い患者（喀痰塗抹陽性患者）も平成24年8名であり、蔓延防止のための啓発も重要な課題である。

(1) 年次別結核患者登録者数

区分	年	人口 (各年10月1日)	結核登録者		新登録患者	
			登録者数	登録率	新登録患者数	罹患率
全国	22	128,056,026	55,573	43.4	23,261	18.2
	23	127,799,000	55,196	43.2	22,681	17.7
	24	127,515,000	52,959	41.5	19,782	15.5
福岡県	22	5,072,804	2,145	42.3	973	19.2
	23	5,080,308	2,237	44.0	938	18.5
	24	5,085,368	2,139	42.1	807	15.9
管内	22	301,774	115	38.1	52	17.2
	23	299,475	139	46.4	54	18.0
	24	296,832	129	43.5	47	15.8
柳川市	22	71,388	33	46.2	14	19.6
	23	70,870	28	39.5	9	12.7
	24	70,108	25	35.7	12	17.1
八女市	22	69,053	32	46.3	13	18.8
	23	68,202	41	60.1	19	27.9
	24	67,344	35	52.0	18	26.7
筑後市	22	48,409	13	26.9	7	14.5
	23	48,519	23	47.4	11	22.7
	24	48,618	20	41.1	2	4.1
大川市	22	37,465	14	37.4	6	16.0
	23	37,043	17	45.9	3	8.1
	24	36,533	16	43.8	6	16.4
みやま市	22	40,737	11	27.0	3	7.4
	23	40,272	11	27.3	4	9.9
	24	39,779	14	35.2	5	12.6
大木町	22	14,352	7	48.8	5	34.8
	23	14,327	11	76.8	5	34.9
	24	14,363	9	62.7	2	13.9
広川町	22	20,260	5	24.7	4	19.7
	23	20,205	8	39.6	3	14.8
	24	20,087	10	49.8	2	10.0

* 資料出典：福岡県の結核（福岡県保健医療介護部作成） * 罹患率＝新登録患者数／人口×10万人

(2) 結核健康診断実施状況

管理健診については、医療機関からの定期病状報告を徹底する等、受診率の向上に努めている。今後も受診率100%を目指し、医療機関との連携を密に患者の病状を把握し、治癒につながるよう確実な結核患者管理に努める。

また、患者家族・接触者の健康診断は、定期健康診断と比較し患者の発見率が非常に高く、患者の早期発見のために重要である。

今後も接触者の十分な調査を行い、患者家族・接触者健診を確実に実施していく必要がある。

区 分		管 理 健 診		患 者 家 族 健 診		接 触 者 健 診	
		H23 年度	H24 年度	H23 年度	H24 年度	H23 年度	H24 年度
対 象 者 数		75	197	153	122	206	276
受 診 機 関	保 健 所	11	27	109	108	187	227
	委 託 医 療 機 関	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	60	166	44	14	19	49
	計	71	193	153	122	206	276
受 診 率 (%)		94.6	98.0	100	100	100	100

※受診者数は延人数

(3) 結核健診の受診状況

平成24年管内において、新登録患者の17名(36.1%)は自覚症状を有しての医療機関受診で発見されている。また、結核患者は高齢者に偏在しているため、結核患者の早期発見のために、今後も管内市町と連携を図り、結核検診への受診勧奨を図る必要がある。

	平成 23 年			平成 24 年		
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
県全体	1,070,471	135,400	12.6	-	-	-
県管轄	464,072	50,071	10.8	-	-	-
管内	46,703	7,306	15.6	59,053	6,445	10.9
柳川市	5,420	478	8.8	14,892	564	3.8
八女市	7,516	1,786	23.8	7,420	1,730	23.3
筑後市	3,302	525	15.9	9,716	551	5.7
大川市	8,414	1,151	13.7	7,903	1,120	14.2
みやま市	12,983	2,214	17.1	11,288	1,279	11.3
大木町	3,233	669	20.7	3,234	690	21.3
広川町	5,835	483	8.3	4,600	511	11.1

※対象者数は「福岡県の結核2011」、「福岡県の結核2012」による。

(4) 結核医療

感染症の診査に関する協議会・結核専門部会

(平成24年度)

種 別		法18条 (就業制限)	法20条 (入院勧告)	法37条の2 (結核患者の医療)
諮問件数		24	51	83
結 果	承認	24	51	80
	不承認	0	0	0
	保留	0	0	0

※毎月2回開催

(5) 結核患者訪問事業

結核患者の発生届を受理した場合は、速やかに訪問指導を行い、患者の治療終了を見届け治療中断者及び多剤耐性結核患者を出さないという取り組みに努めている。

平成17年10月から実施しているDOTS事業(直接服薬確認療法)も継続して実施している。

訪問指導件数

(平成24年度)

区 分	実人数	延人数
患者・家族等訪問件数	103	300
(再掲)DOTS	57	171

(6) 結核予防事業

平成24年度は入所施設等の職員を対象とした感染症対策研修会の中で、結核対策について説明し、結核の早期発見のための啓発に取り組んだ。

2 感染症対策

(1) 感染症予防対策

管内における平成24年度の感染症の発生状況は、下記のとおりである。

平成24年度は、腸管出血性大腸菌感染症が4件発生し、患者及び家族等に対し健康調査、疫学調査及び二次感染予防の指導を実施した。

また、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生が1件発生し、標準予防策による、消毒、手洗い等感染拡大防止について指導・助言等を行った。感染症発生予防については、機会あるごとにパンフレット等を配布するなどして啓発を行っている。

感染症発生状況

(平成24年度)

類 型	疾 病 名	件 数
二 類	結核	54
三 類	腸管出血性大腸菌感染症	4
四 類	レジオネラ症	1
五 類	梅毒	3
	風しん	2
	C型肝炎	1
	破傷風	1
	アメーバ赤痢	2
計		68

(2) インフルエンザ対策

ア インフルエンザ発生による学校・学年・学級閉鎖状況

(平成25年1月15日～5月26日)

閉鎖状況	幼稚園	小学校	中学校	高校	特別支援学校
学校閉鎖	0	0	0	0	1
学年閉鎖	2	6	1	0	1
学級閉鎖	1	6	6	0	1
計	3	12	7	0	3

イ 新型インフルエンザ対策

保健医療圏ごとに「新型インフルエンザ対策地域連携会議」を開催すると共に、関係機関に対し新型インフルエンザ対策に関する情報提供を行った。また、専用外来設置医療機関については、連携を図りながら外来受け入れの現地訓練を行った。

平成25年度は、国が改訂した行動計画（H25.6.7）や県が改訂予定の行動計画に基づき、早い段階で関係機関と連携し管内の医療体制等の整備を図っていく。

(3) 感染症予防啓発・健康教育

(平成24年度)

月 日	対 象	内 容	参加人数
H24. 6. 27 6. 28	上級救命講習受講者 (筑後市消防本部主催の講習会)	感染防止の意義及び必要性	52
H24. 7. 4	南筑後保健福祉環境事務所職員	「保健師現任教育」 防護服の着脱訓練	20
H24. 7. 11	県立大川樟風高校（定時制） 学生・教諭	性感染症予防	57
H24. 9. 26	高齢者施設職員	感染症対策研修会	60
H24. 11. 16	八女筑後看護専門学校学生	感染症について	42
H25. 1. 9	南筑後保健福祉環境事務所職員	「保健師現任教育」 感染症発生時の対応について	17
H25. 3. 5 3. 7	管内医療機関職員	感染症発生時の対応について	333

9月26日実施の「感染症対策研修会」は、感染性胃腸炎等の発生予防と感染拡大防止を目的とし、講話と嘔吐物処理等の演習を行った。参加者の関心も高く、好評であった。

(4) 感染症訪問指導

感染症患者発生時は、発生届を受け、迅速に個別の家庭訪問等を行い、疫学調査や接触者等に対する二次感染防止のための手洗い等の指導を実施している。

訪問指導件数

(平成24年度)

実人数	延人数
73	108

(5) 特定感染症対策

最近のH I V感染について報告をみると、全国的にも患者・感染者数は増加しており、感染の拡がりが懸念されている。

福岡県では、平成24年に報告のあった感染者は43名、患者数は17名、合計60名で、過去最高の報告数となっている。累計は、感染者数は340名、患者数は167名、合計507名となっている。

感染経路別では、性的接触によるものが殆どで、年齢別では20代から30代を中心とした年齢層で多く報告されている。また、診断時には既にエイズを発症している事例が約3割を占めていることから、平成18年度より、国においてH I V検査普及週間が創設され、検査・相談体制の充実が図られているところである。

当所においては、下記の内容で予防普及啓発に取り組んだ。なお、平成23年度からは、電話予約制を導入しているところである。

ア 検査相談事業

定例の相談日：本庁舎(毎週火曜日 9:00～10:00)

分庁舎(毎週月曜日 14:00～15:00) *予約制

特定感染症相談・検査件数

年度		平成23年度	平成24年度
相談件数		400	174
検査件数	HIV	93	62
	梅毒	93	60
	クラミジア	93	61

イ 時間延長相談日

「HIV検査普及週間」

本庁舎：平成24年6月19日、26日(火) 9:00～19:00

分庁舎：平成24年6月18日(月) 10:00～16:00

「世界エイズデー」

本庁舎：平成24年12月2日、9日(日) 13:00～16:00

12月4日、11日(火) 9:00～16:00

分庁舎：平成24年12月3日、10日(月) 14:00～16:00

ウ 普及啓発事業

(ア) ポスター・チラシ・啓発グッズの配布

学校、公共施設、駅、コンビニエンスストア等にポスター、チラシの掲示を行う。

(イ) 性感染症健康教育の実施

(平成24年度)

実施日	対 象	参加人数
H24. 7. 11	県立大川樟風高校(定時制) 学生、教諭	57

(6) 肝炎相談・検査事業

肝炎相談・検査事業は、感染の早期発見に努めることにより、慢性肝炎、肝硬変、肝がん

どの発生を予防することを目的として、平成13年6月から有料で開始した。

平成18年9月からは、無料検査となり、平成19年11月からは、C型肝炎検査に加えてB型肝炎検査も無料で実施している。

定例の相談日は、本庁舎において毎週火曜日、9:00～10:00、また、分庁舎において毎週月曜日、14:00～15:00に、特定感染症相談とあわせて実施している。

C型肝炎・B型肝炎相談・検査件数

年 度	平成23年度	平成24年度
相談件数	207	66
C型肝炎検査	24	24
B型肝炎検査	24	23

(7) 予防接種

平成22年11月26日より、子宮頸がん等ワクチン接種緊急事業が開始されたが、管内市町では、平成23年1月からの実施となっており、平成25年3月31日まで行われる予定である。

接種ワクチン名	接種対象者
子宮頸がん予防ワクチン(HPV)	小学6年～高校1年生相当の女子
ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン	2ヶ月以上 60月に至る
小児用肺炎球菌ワクチン	2ヶ月以上 60月に至る

「子宮頸がん等ワクチン接種緊急事業」は平成24年度で終了し、平成25年度からは定期接種化となる。また、MRワクチンについても、中学1年生(3期)、高校3年生相当の年齢の者(4期)に定期接種を行っていたが平成20年から5年間の特例措置であったため、3期4期については、平成24年度末で終了。